

ホタテガイ養殖管理情報

水温が中層（10～15m層）で20℃を超えてきたので、新貝および成貝の施設は水温の低い下層へ沈めましょう

1 海況

7月3日～9日の陸奥湾の日平均水温（全層）は、表1のとおりです。各ブイの水温は図1のとおり徐々に上昇し、中層（10～15m層）でも20℃を超えるところが見られてきました。

表1 各ブイの1週間(7/3～7/9)の日平均水温(最低～最高)

観測地点	水温(℃)	観測地点	水温(℃)	観測地点	水温(℃)
平館ブイ	15.1～18.5	東田沢ブイ	15.1～19.9	川内ブイ	13.9～19.5
蓬田ブイ	16.2～18.9	野辺地ブイ	14.6～20.4	脇野沢ブイ	14.2～18.6
奥内ブイ	15.5～20.1	東湾ブイ	11.2～19.6		
青森ブイ	13.9～20.4	横浜ブイ	14.9～20.0		
浦田ブイ	15.4～20.5	浜奥内ブイ	14.9～20.3		

2 養殖管理の注意点

これまでの試験結果から、ホタテガイ新貝および成貝の成長と生残率に与える水温の影響と、高水温が続いた場合のへい死のメカニズムは以下のとおりと考えられます（図2～3）。

- 20℃で成長が止まり、それ以降は中腸腺（ウロ）や貝柱のエネルギーを使って生命を維持するが、水温が高くなるほどエネルギーの消耗が激しくなり、最後はエネルギー不足でへい死する。
- 27℃になると、鰓による呼吸ができなくなり、急死する。

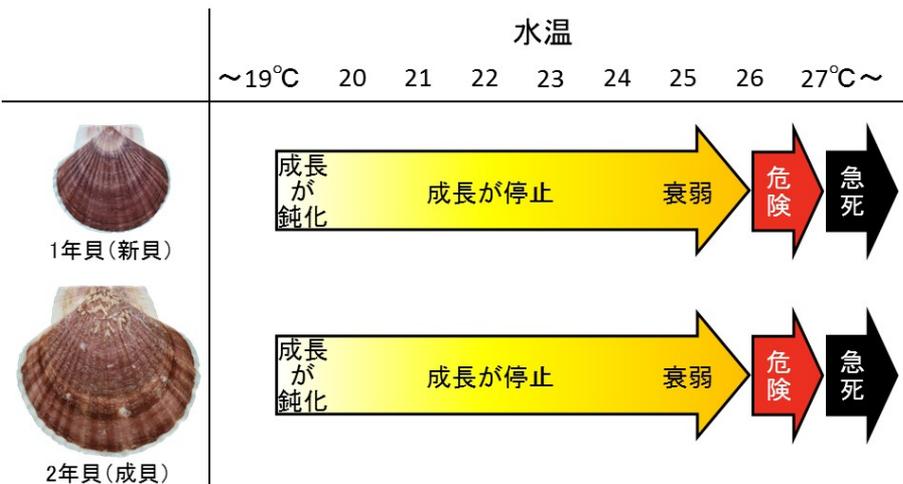


図2 新貝および成貝の成長と生残率に与える水温の影響

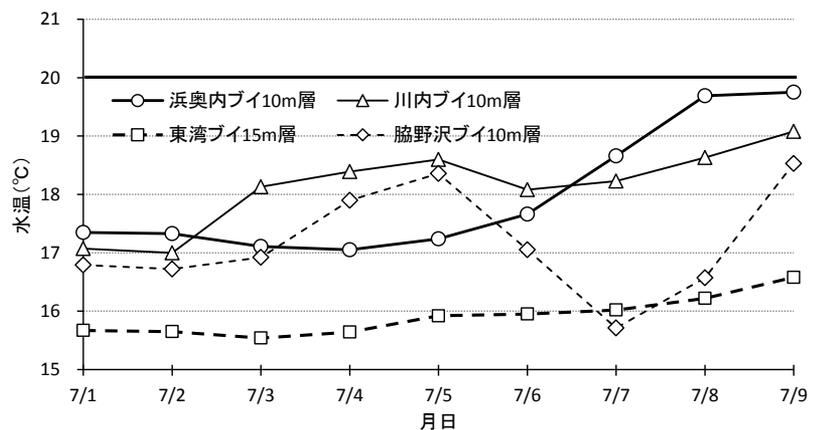
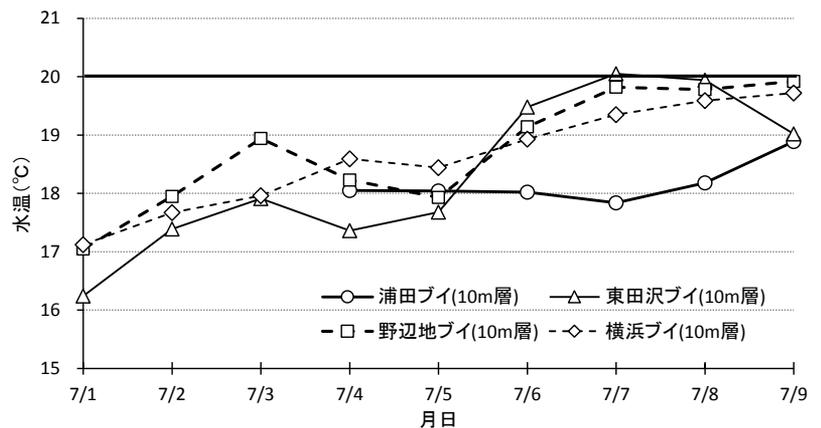
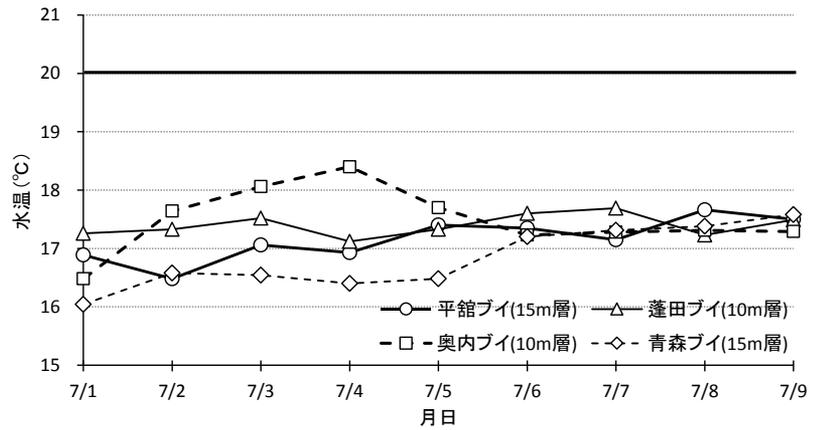


図1 海況自動観測ブイ（15m層）と水温観測ブイ（10m層）での日平均水温の変化

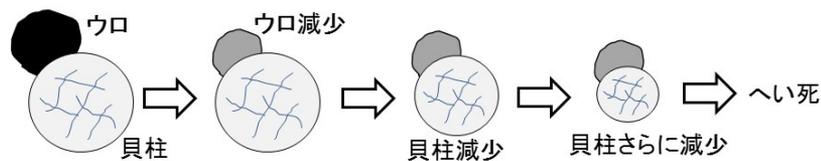


図3 高水温が続いた場合のホタテガイのへい死メカニズム

8～9月の気温が高くなる確率が高いことから、高水温については依然として注意する必要があります。このため、各地区で最も近いブイの中層水温が20℃を超えた場合、新貝および成貝のうち、出荷する予定以外の貝はできるだけ水温の低い下層に沈めてください。

